

未来を担う子どもたちへ

—山中伸弥教授講演会—

2015年4月21日 兵庫県立芸術文化センター

山中教授は、私がそうぞうしていたよりも、ずっと面白い人でした。

「VW (Vision & hard Work)」という言葉を通じて、目先のことだけを考えるのではなく、もっと将来のことを考えるのが大切なんだと思いました。

その夢が実現するか、そうじゃないかは別として、夢を持つのが大切なんだと話を聞いて思いました。山中教授は、「iPS細胞を完成させるために奥さんと子どもを連れてアメリカに行った」と言っていました。自分のしたい事を追求するのはすごくカッコイイんだなと思いました。私も日本を飛び越えて遠く国に行く程の勇気がほしいです。「人間万事塞翁が馬」という言葉が、すごく心に残っています。1つの出来事で、善し悪しを決めるんじゃなくて、次の事を考えおくのが大事なんだなと思いました。悪い事があった時には、「もうすぐ良い事がある！」とプラスに考えていける人になりたいです。

私は、山中教授の話を聞いてから今までの山中教授のイメージががらりと変わりました。山中教授はノーベル賞を受賞しているから、私とは別次元の存在のように思っていたけれど、私たちと同じように、挫折を味わったりしていたことを知り、やはり世界で認められるようになるにはそれだけの努力が必要なんだと思いました。山中教授のVWについても、私は、まだビジョンというものがはっきりしていないので、これから見つけていきたいです。そのためには、高校での生活が大切になると思うので、今に一喜一憂せず、一生懸命頑張っていきたいと思いました。

山中教授に教わったことは、3つありました。「VW」「人間万事塞翁が馬」「おかげさま」です。私が一番心に残ったことは、『おかげさま』です。どんなことを成しとげたとしても、周りで支えてくれた人達のおかげだと思うことが大切だと学びました。今、毎日の生活を送れているのも、親や兄弟、友達、先生などのおかげなので、感謝の気持ちを常にもっておくようにします。iPS細胞についても、知識が増え良い経験になりました。

たくさんの人と交流をしたり、色々なことに挑戦することで、山中教授のように人のためになるものを作り出すことができるんだと思いました。これから生きていく中で、夢を持ってそのために一生懸命勉強したり働いたりすることが大切なんだと思いました。それだけではなく、私を支えてくれる人、協力してくれる人など全ての人に感謝することを忘れずに、思いやりを持って行動しようと思います。常に、自分にできることは、何かを考え実行していける人になりたいです。

